

のお知らせ

●問い合わせ●
鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749
吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696
※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所
駐車場をご利用ください

予防接種のご案内

問い合わせ／鴻巣保健センター

接種は委託医療機関（左表）での個別接種です。予約の上、医療機関・保健センターに備えの説明書を読んでから接種を受けてください。なお、市外の医療機関は助成の対象とならない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

大人の予防接種

■定期予防接種・高齢者の肺炎球菌

対象／①65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方（対象者に受診券を5月頃に郵送） ②60歳～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当） ※過去に受けた方は対象外。対象②の方は、お問い合わせください

費用／2,500円 助成回数／1回

持ち物／受診券、健康保険証、対象②の方は身体障害者手帳

■市独自の助成で行う任意予防接種

高齢者の肺炎球菌

対象／①接種当日に65歳以上

②60歳～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）

費用／4,100円（市内委託医療機関で接種した場合）

助成回数／市の助成を受けたか否かに関わらず、2回目の接種まで。前回の接種から概ね5年以上の間隔をおく

持ち物／健康保険証、対象②の方は身体障害者手帳

带状疱疹

対象／50歳以上の方 ※過去に助成を受けた方は対象外

助成費用／1回につき4,000円

助成回数／生ワクチン1回又は不活化ワクチン2回

持ち物／健康保険証

※実施医療機関は、市内又は北本市、桶川市、伊奈町の委託医療機関

こどもの予防接種

出生後・転入後に予防接種の案内を郵送します。市から郵送された「予防接種と子どもの健康」や通知をよく読み、医療機関に予約をして受けてください。通知が届かない方や転入後すぐに予防接種を希望される方、市外医療機関での接種を希望される方は、鴻巣保健センターまでお問い合わせください。

■定期予防接種

予防接種法に基づくもので、対象の年齢・期間であれば無料で接種ができます。詳細は市HP（右記QRコード）をご覧ください。



■子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の費用助成

積極的勧奨の差し控えにより公費で接種できる機会を逃した方が、定期接種期間を過ぎて自費で接種した場合、接種費用の助成を行います。詳細は市HP（右記QRコード）をご覧ください。



■任意予防接種

保護者の希望により接種する予防接種です。市では疾病予防と子育て支援を目的に接種費用の一部を助成をしています。

予防接種の種類	対象年齢【助成回数】	費用
おたふくかぜ	1歳～小学校就学前年度【1回】	3,500円
不活化ポリオ	平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ【令和6年3月31日までに1回】	5,000円





保健センターからの

■全ての予防接種を実施する医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
北鴻巣クリニック	596-1423	斎藤外科胃腸科医院	541-4345	吹上整形外科医院	548-5211
河野小児科医院	541-0146	はやしだ産婦人科	541-8000		

■一部の予防接種を実施する医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
愛の町ポピークリニック	595-1041	佐野医院	541-2888	吹上共立診療所	548-3865
相原医院	569-1951	サンプレジッククリニック鴻巣	540-0088	ふたむら内科クリニック	540-6635
あおばクリニック	580-5670	清水こども医院	540-6360	プライムクリニック	543-8888
赤見台整形外科	595-1100	昭和クリニック	548-0025	ヘリオス会病院	569-3111
おおさきクリニック	580-7720	高橋胃腸科医院	542-5018	ヘリオスクリニック	540-7320
大塚医院	541-0932	たけうちクリニック	594-7701	星野医院	542-8911
こうのす共生病院	541-1131	田嶋医院	548-6230	宮坂医院	569-0100
鴻巣外科胃腸科	543-7770	坪山整形外科	548-0052	村越外科胃腸科肛門科	548-0048
鴻巣第一クリニック	542-5566	中村医院	541-1331	山口内科クリニック	541-0215
鴻北クリニック	595-3733	仁科整形外科	543-7099	山田ハートクリニック	540-4180
小室クリニック	541-0020	ひまわりこどもクリニック	544-5600	湯本フラワー通りクリニック	595-1711
埼玉県済生会鴻巣病院	596-2221	平野産婦人科医院	548-4422	わたまクリニック	541-5756
埼玉脳神経外科病院	541-2800				

40歳からの歯科健診

問い合わせ／鴻巣保健センター

実施期間／令和6年3月31日(日)まで ※休診日除く

対象／健診日に市内在住で、40歳以上の方(昭和59年4月1日以前生まれ) ※年度内1人1回まで

費用／400円(受診時に医療機関窓口で支払い)

※生活保護世帯の方は無料(要受給者証)

その他／申込時に実施医療機関一覧表を配布

申込み／各保健センターへ電話又は直接窓口(電子申請(右記QR)も可)



20歳の歯科健診も実施します。詳細は受診券をご覧ください



ウイルス性胃腸炎について

ウイルス性胃腸炎は、文字通りウイルス感染が原因で発症する胃腸炎で、その原因ウイルスの中でも特に代表的なのがノロウイルスです。

ノロウイルスは、全ての年齢層で発症する胃腸炎で、12〜1月にかけての冬に多く発生しますが1年を通して起こります。主な症状は、嘔吐、下痢、腹痛、発熱で、程度には個人差があります。発症原因としては、カキ等の二枚貝の一部にウイルスが含まれている場合が多く、それを生で食べることでより感染します。そのため、十分に加熱(85〜90度で90秒以上)をすることで感染予防になります。

感染をすると24〜48時間の潜伏期間を経て発症します。特效薬はないので、胃薬や吐き気止めなどによる対症療法が主になり、多くの方は1〜3日で自然に改善します。また、下痢や嘔吐が続くと脱水症状を引き起こすため、まめな水分補給が大切です。なお、下痢はウイルスを体外に排出しようとする体の防御反応なので、止痢剤(シロイ)で下痢を無理に止めると、症状が悪化する場合があります。注意が必要です。

ウイルスは便や吐物に大量に含まれるため、吐物を処理した後などに、手に付いたウイルスがいつの間にか口に入り感染が広がる場合があります。このような家庭内での2次感染を防ぐためには手洗いを徹底することが重要です。特に、トイレや吐物の処理の後、調理前、食事前にはしっかりと手洗いが必要です。また、ノロウイルスの消毒にはアルコールだけでは不十分で、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用の塩素系漂白剤)が有効です。ドアノブなどを消毒しておくことも2次感染の予防につながります。以上のことに注意して、家族揃って健康な毎日を送りましょう。

(鴻巣市医師会)

